

図形描画ツール

(バージョン:Word2002)

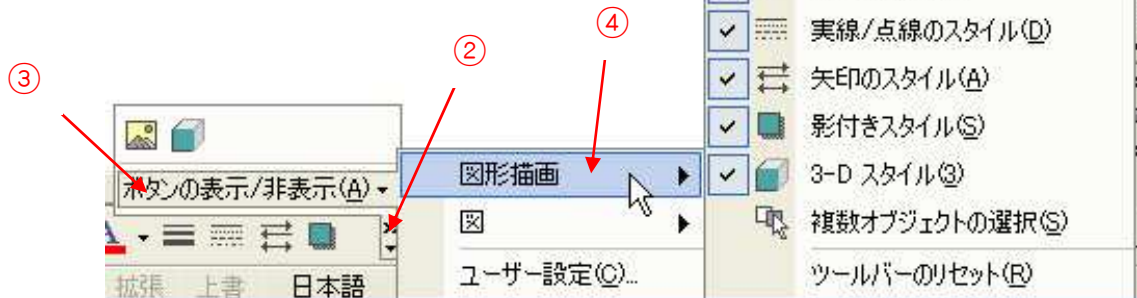
図形描画ツールで、Word 文章に、いろいろな図形を描画することができます。

右が、[図形描画]のツールの一覧です。

このメニューは、次の手順で表示でき、
各ボタンの左に、チェックマークを付けると
ツールバー[図形描画]を表示したとき、
ツールバーに、ツールボタンとして表示します。

<メニューの表示手順>

- ① メニューバー「表示」→「ツールバー」メニューの
[図形描画]にチェックマークを入れる
- ② [図形描画]ツールバーの[ツールバーオプション]
をクリック
- ③ ポップアップメニューの[ボタンの表示／非表示]を
クリック
- ④ 右に出るメニューの[図形描画]をクリック



<各ボタンの機能>

①図形の調整(R)

右の▼ボタンをクリックすると、右のようなメニューが表示され、さらにそれらのサブメニューを含め、指定した図形の調整ができる。

「グリッド」は、用紙に所定のグリッド線を表示する時に用いる。



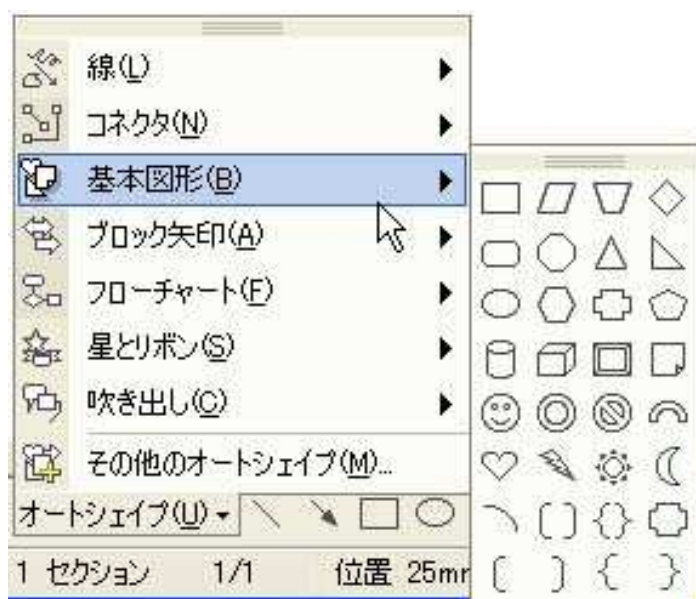
②オブジェクトの選択(S)

調整しようとする図形を選択する。

③オートシェイプ(U)

右の▼ボタンをクリックすると、右のようなメニューが表示され、さらにそれらのサブメニューとして各種図形が表示され、描きたい図形を描画することができる。

描画は、メニューの図形のダブルクリックか文書画面上で+ポインタのドラッグで行う。



⑤ 直線(L)

「直線」ボタンを選択後、文書画面上で+ポインタをドラッグし直線を描く。

⑥ 矢印(A)

「矢印」ボタンを選択後、文書画面上で+ポインタをドラッグし矢印を描く。

⑦ 四角形(R)

「四角計」ボタンを選択後、文書画面上で+ポインタをドラッグし四角形を描く。

⑧ 楕円(O)

「楕円」ボタンを選択後、文書画面上で+ポインタをドラッグし楕円を描く。

⑨ テキストボックス(X)

「テキストボックス」ボタンを選択後、文書画面上で+ポインタのドラッグで、横書きのテキスト

ボックスを作る。

⑩ 縦書きテキストボックス(V)

「縦書きテキストボックス」ボタンを選択後、文書画面上で $\boxed{+}$ ポインタのドラッグで、縦書きのテキストボックスを作る。

⑪ ワードアート(W)

「ワードアート」をクリックすると、「ワードアート ギャラリー」ダイアログボックスが表示されワードアートを描画できる。



⑫ 図表(G)

「図表ギャラリー」をクリックすると、「図表ギャラリー」ダイアログボックスが表示され、図表を描画できる。

⑬ クリップアート(C)

「クリップアート」をクリックすると、「クリップアートの挿入」作業ウィンドウが表示され、図表を描画できる

⑭ 図(G)

「図」をクリックすると、「図の挿入」ダイアログボックスが表示され、所定の図を選択し描画できる。

⑮ 塗りつぶしの色(P)

「塗りつぶしの色」をクリックすると、選択した図表の背景に使用する色パレットなど表示され、背景を描画できる。



⑯ 線の色(F)

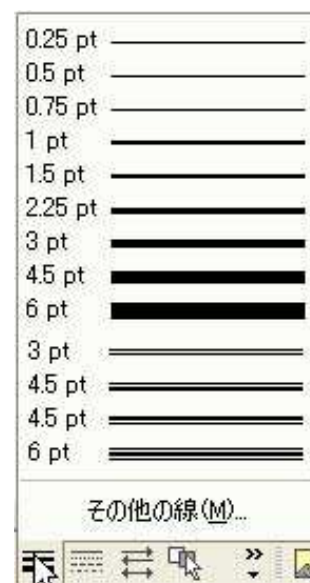
「線の色」をクリックすると、選択した線に使用する色パレットなど表示され、線の色を変更できる。

⑰ [フォントの色](F)

「フォントの色」をクリックすると、選択した文字に使用する色パレットなど表示され、文字の色を変更できる。

⑮ 線の種類(スタイル)(L)

「線の種類」をクリックすると、選択した線の種類を変更できる。



⑯ 実線／点線のスタイル(D)

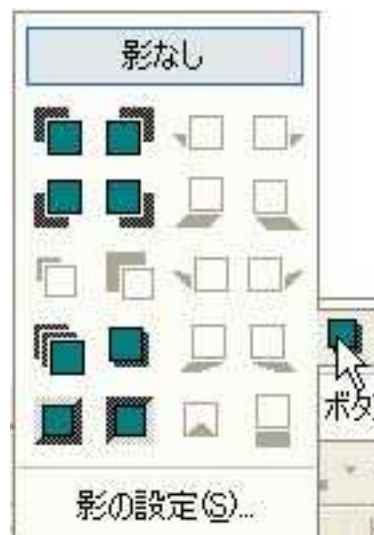
「実線／点線のスタイル」をクリックすると、選択した線の実線／点線の種類を変更できる。

⑰ 矢印のスタイル(A)

「矢印のスタイル」をクリックすると、矢印の種類を変更できる。

21 影付きのスタイル(S)

「影付きのスタイル」をクリックすると、図形につける影の付け方を変更できる。



(21) 3—D スタイル(3)

「3—D スタイル」をクリックすると、図形の3次元表示の形を変更できる。

(22) 複数オブジェクトの選択(S)

「複数オブジェクトの選択」をクリックして表示されるダイアログボックスで、複数の図形を選択できる。

2004.9.10 江見千秋